

開催日	催し物名・観覧時間	入場方法	主催者(お問合せ先)
5月	4/29(水祝) 松岡健太郎作品展 併設・卒業生作品展 ～3(日祝) 観覧時間:10:00～19:30(最終日は18:00まで)	第1展示室 無料	松岡 090(9234)2240 松岡
	4/28(火) 第48回 月曜会絵画展 ～3(日祝) 観覧時間:10:00～17:00(初日は14:00から、最終日は16:00まで)	第2展示室 無料	月曜会 0422(71)6757 松本
	12(火)～17(日) フォト倶楽部写真展「自然の移ろい」 観覧時間:10:00～18:00(初日は13:00から、最終日は16:00まで)	第1展示室 無料	写真を楽しむグループ 090(3105)1832 高間
	12(火)～17(日) 第19回 若葉フォトクラブ写真展 観覧時間:11:00～18:00(初日は13:00から、最終日は16:00まで)	第2展示室 無料	若葉フォトクラブ 03(3923)3765 徳武

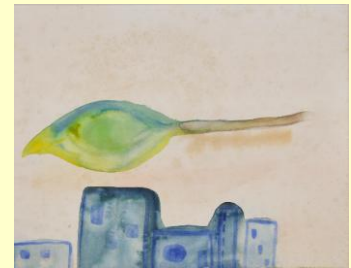
- ↑
- ・この催し物案内は、2026年4月15日にとりまとめたものです。
 - ・内容、期間、時間、入場方法等は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 - ・各催し物の詳細については、主催者までお問い合わせください。

三鷹市美術ギャラリー 企画展

物語のかけらを見つけに

2026年5月30日(土)
～8月2日(日)

開館時間:10:00～20:00(入館は19:30まで)
休館日:月曜日(7月20日は開館)、7月21日(火)
観覧料:一般500円/65歳以上・学生(大・高)300円/中学生以下無料
※障害者手帳等をお持ちの方と付添の方1名は無料
主催:三鷹市美術ギャラリー・(公財)三鷹市スポーツと文化財団



成瀬麻紀子
《きのうの風景》制作年不詳

本展では、酒井駒子(さかい こまこ)、齋藤陽道(さいとう はるみち)、成瀬麻紀子(なるせ まきこ)の3名の作家の作品をご紹介します。
絵本作家である酒井駒子が描く小さなものたちの姿は見るものの心を愛おしさで満たしてくれます。子供が母親を見つめるまなざし、孤独と寂しさにとらわれた時のしぐさなど、多くの人の幼き日々の姿を思い起こさせるのではないのでしょうか。写真家として活動する齋藤陽道は、世界にあふれる「言葉」にならない「ことば」を収めています。そこには、強い生への希望と敬意が表現されています。画家の成瀬麻紀子は画面の中で自身を解き放ち、水で溶いた淡い色彩を自由に歌わせます。
作品は私たちにどのような記憶や感情を呼び起こすのでしょうか。ぜひゆっくりと語り合い、作品の中にひそむ物語のかけらを見つけに来てください。

三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー企画展 《観覧無料》 三鷹市美術ギャラリーから徒歩5分
はためく光 Fluttering Light/高松明日香展 2026年6月20日(土)～7月20日(月祝)
開館時間:10:30～17:30



三鷹市美術ギャラリー内

太宰治展示室
三鷹の此の小い家

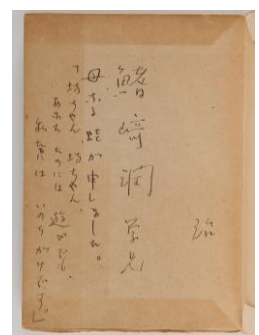
観覧無料

2026年5月30日(土)～8月2日(日)

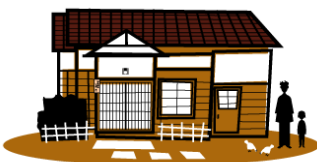
企画展示 太宰治 署名本の魅力—汝を愛し 汝を憎む

本展では、近代文学の初版本・署名本コレクターとして名高い川島幸希氏が所蔵する数多くの太宰治の署名本に、三鷹市が所蔵する署名本をあわせて一堂に公開します。

さらに、太宰治からの署名本に比べて、遥(はる)かに現存数の少ない「太宰治宛の署名本」や、太宰治が生涯で刊行した、『晩年』から『人間失格』に至る初版本も展示します。藤田嗣治や小磯良平、林芙美子といった作家の手による書籍の装幀が会場内にさらなる彩りを加え、太宰治の愛好者が一年で最も三鷹を訪れる「桜桃忌」を盛り上げます。



太宰治 齋藤潤宛『晩年』
昭和11年6月 砂子屋書房
三鷹市(齋藤家寄託)



観覧時間:午前10時～午後6時

休館日:月曜日(7月20日は開館)、7月21日(火)

協力:青森県近代文学館 監修:川島幸希(日本近代文学研究者、秀明大学名誉学長)

会場:太宰治展示室(三鷹市美術ギャラリー 三鷹市下連雀3-35-1 CORAL5階)

展示についての問合せ先 TEL0422-26-9150(太宰治文学サロン)